

## 平成26年度 事業報告書

1. 研究助成事業 27,510千円
- (1) がん研究助成（公募） 22,000千円  
第47回がん研究助成審議会の審査を経て次のとおり研究助成金を贈呈した。
- |        |     |             |
|--------|-----|-------------|
| 一般課題 A | 11名 | (1課題 100万円) |
| 一般課題 B | 10名 | (1課題 50万円)  |
| 特定課題   | 3名  | (1課題 200万円) |
- (2) 海外派遣研究助成（公募） 5,510千円  
がんに関する国際会議、国際学会への出席者31名に対し、海外旅行費等の助成を行った。
2. 関係団体助成事業（公募） 1,000千円  
UICC（国際対がん連合）の事業に対して協力助成を行った。
3. 技術者研修助成事業（公募） 2,250千円  
看護師、薬剤師、放射線技師、等のメディカルスタッフ9名に対し、海外研究等の助成を行った。
4. 革新的がん医療実用化研究推進事業（国庫補助事業） 264,902千円
- (1) 外国人研究者招へい事業（公募） 1,124千円  
外国の優れた研究者を招へいし、我が国の研究者と国際共同研究を行った。  
1名（中国）
- (2) 日本人研究者等派遣事業（公募） 10,835千円  
今後の研究計画の発展に資するため、外国の大学又は研究機関等に派遣した。

3名（アメリカ、イギリス、フランス）

(3) 若手研究者育成活用事業（リサーチ・レジデント制度）（公募）

147,626千円

若手研究者をリサーチ・レジデントとして採用し、革新的がん医療実用化研究に参画させ、将来のがん研究の中核となる人材育成を行った。

リサーチ・レジデント採用 49名

(4) 研究成果等普及啓発事業

105,317千円

国際がん研究シンポジウム、国際がん看護セミナーの開催、革新的がん医療実用化研究の研究成果発表会及び市民公開講演会をそれぞれ開催した。

また、研究の成果を国民にフィードバックするため、各種情報媒体を活用し、がんの普及啓発に努めた。

① 国際がん研究シンポジウム開催

アメリカ、イギリス、イタリア、フランスから著名ながん研究者を招き、国内外の研究者による「革新的がん医療実用化研究推進事業第1回国際がん研究シンポジウム」を開催し、最新の研究情報・医療技術情報の交換を行い、研究の推進を図った。

テーマ 希少がん：望ましい医療・研究体制を探る

開催日 平成27年2月12日（木）～2月13日（金）

会場 国際研究交流会館

② 国際がん看護セミナー開催

がん患者とその家族を支えるがん看護の向上を図るため、国内外のがん看護関係者による「革新的がん医療実用化研究推進事業第1回国際がん看護セミナー」を開催した。

テーマ がん医療の質向上を担うがん看護の「現在」と「発展の10年後」を問う

開催日 平成27年1月29日（木）～1月30日（金）

会場 国際研究交流会館

③ 研究者向け成果発表会の開催

開催日 平成27年2月17日（火）

会場 国際研究交流会館

④ 市民公開講演会の開催

テーマ がん研究と市民社会～高齢者がんとサバイバーシップ～  
開催日 平成27年3月14日(土)  
会場 国際研究交流会館

⑤ がん関連パンフレットの作成

5. 広報活動事業(財団法人 日本宝くじ協会助成事業) 27,077千円  
がん研究の成果を国民にフィードバックするため、ホームページの充実やパンフレット等を作成し、自治体、学校、保健所及びがん診療拠点病院等に配布した。

(冊子名)

- |                           |         |
|---------------------------|---------|
| ○ ～がんとどう付き合うか～みんなで考えよう乳がん | 1,410千部 |
| ○ ～やさしいがんの知識～予防できる子宮頸がん   | 1,410千部 |
| ○ ～やさしいがんの知識～予防できる大腸がん    | 1,410千部 |
| ○ ～やさしいがんの知識～予防できる肺がん     | 1,410千部 |